

- 次世代を担う若者から関西の将来像や地域インフラの課題等を発信し、関西広域地方計画の策定、更には実現を寄与することを目的に開催
- パネルディスカッションを実施し若者からの意見を聴取
- 若者から、関西が担う役割やメリット・デメリット、各都市の特徴を伸ばしていくための提案などのご意見をいただいた
- 第一弾(ダイアログ:対話)を3月に開催。今回は第二弾になる

■日時: 令和6年12月9日(月) 14:00~15:30
■場所: OMMビル天満橋 グラン101・102(大阪市中央区大手前1-7-31)
■登壇者: 右記 **■参加者数:** 79名
■共催: 国土交通省 近畿地方整備局・一般社団法人 近畿建設協会
■後援: 一般社団法人 日本建設業連合会開催支部
 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部
■報道関係: 4社 日刊建設工業新聞社・建通新聞社・日刊建産速報社・日刊建設通信新聞社
■YouTube: <https://youtu.be/vV-nXspYj7E>



【パネルディスカッションのテーマ】
 ①関西の課題・西日本の中心である関西の役割等
 ②就職時に関西から東京へ行かざるを得ない状況について日頃思っていること
 ③各都市の特徴を伸ばすためにはどうすれば良いか

コーディネーター	
橋爪 紳也 氏	大阪公立大学 研究推進機構 特別教授
パネリスト	
壁 菜々美氏	立命館大学 理工学部 2 回生 (愛知県出身 滋賀県在住 2 年目)
田村 拓也氏	戸田建設(株) (神戸市出身・在住)
中村 遥 氏	中央復建コンサルタンツ(株) (東京都出身 大阪府在住 3 年目)
三木 穂波 氏	高槻市役所 (岡山県出身 大阪府在住 2 年目)
山本 汐音 氏	神戸大学 経済学部 4 回生 (大阪府出身・在住)



【主な意見】
 ①関西は、西日本全体を代表して日本の発展を率いる可能性がある
 ①大企業がUターン、ターンをしたくなるような、西の拠点という点だけではない特徴や強みをアピールしていく必要がある
 ②自分がやりたいことができる企業に着目すると東京の方が企業数が多く可能性が広がる
 ②関西は、子育てしやすく、都市の便利さもある。また、愛着を抱きやすい地域柄であるなどの理由から、Uターンをしたいという人が多い
 ②大企業だと東京に本社があり、関西で働くと支店勤務にしかない
 ③大阪は、今後、北陸新幹線やリニアなどの延伸による交通網の発達や新大阪・関西国際空港・伊丹空港などのアクセス拡充を行うことができれば、さらに良い都市になっていくのではないかと

③東京に比べて人口集積が少ないのは事実。数より質で勝負することが一人当たりのスキル・役割などで多様性を増やし、関西の多様性が担保されるのではないかと
 ③各地域それぞれの持つ魅力によって観光ならここ、商業ならここ、産業ならここというように役割分担をすることで、それぞれの府県が輝けるのではないかと

【橋爪先生からのコメント】
 ・2050年という未来をイメージして関西が元気であることをもっと考えていく必要があると強く感じた
 ・今回の広域地方計画はシームレスがキーワードであり、新しいものと古いものを活かしながら、地域と地域、更には個人と個人を繋げることが重要
 ・日本の中の関西ではなく「世界の中の関西」にシフトしていくべきである